

教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京医科歯科大学医歯学総合研究科大学院						
教育プログラム・コース名	腫瘍循環器専門医養成コース（正規課程）						
対象職種・分野	医歯学総合研究科大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	①がん患者の心血管系合併症を適切に診断し、個々の患者に応じた最適なマネジメントができる人材 ②がん患者に対する治療の特性を十分に理解し、がん治療医およびその他の職種と連携できる人材						
修了要件・履修方法	専門領域必修科目18単位および下記の追加必修・選択科目を含めて、30単位以上を履修し、学位論文を提出の上、審査、最終試験に合格すること						
履修科目等	<p><必修科目> 所属専門分野の必修18単位に加えて、腫瘍循環器（1単位）＋腫瘍循環器実践演習（2単位）＋がん化学療法特論（1単位）</p> <p><選択科目> がん生物学・解剖学・病理学（1単位）、臨床腫瘍学（1単位）、腫瘍放射線治療学特論（1単位）、放射線診断学・核医学特論（1単位）から2単位以上</p>						
がんに関する専門資格との連携	現在、腫瘍循環器の専門医の資格は無いため、連携なし。ただし、循環器専門医（日本循環器学会）、心エコー図専門医（日本心エコー図学会）とは連携。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>近年、がん治療は著しい進歩がみられ、殺細胞性治療薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤（ICI）が登場したほか、白血病などの造血器腫瘍では大量抗がん剤投与・造血幹細胞移植、CAR-T療法などが導入され、その予後は大きく改善している。しかし、これらの治療では心血管合併症の合併がみられ、それが原因で患者が死亡する、あるいは大きく生活の質（QOL）・日常生活活動度（ADL）が障害される。その腫瘍循環器領域は注目されているが、それを専門とする医師は少ないのが現状である。</p> <p>本プログラムは個々の患者における適切な診断、新規治療薬を含めた最適な治療法の選択・実践、中長期フォローアップができる腫瘍循環器の専門医の育成を目指した指導を行う。講義だけでなく、実習・演習を取り入れることで、知識だけでなく実践できる専門医の育成を行う。指導内容としては、心エコーによる評価、バイオマーカーによる評価、薬剤およびICI関連の心筋障害、静脈血栓症、催不整脈性、肺高血圧症、腫瘍循環器ガイドラインの詳細な解説などからなり、腫瘍循環器領域の網羅的な指導を行う。</p> <p>可能な範囲で遠隔講義やe-learningを用いることで受講者の利便性に配慮した受講環境を整備する。</p>						
指導体制	東京医科歯科大学病院および連携する施設の腫瘍循環器に精通した循環器内科専門医・指導医が中心となり、がん診療を専門とする学内外のがん薬物療法専門医、造血器腫瘍専門医、放射線治療専門医、看護師、薬剤師等が連携して指導を行う。						
修了者の進路・キャリアパス	循環器専門医、心エコー図専門医等の資格を取得し、大学病院、地域の中核病院、がん拠点病院において多職種と連携してがん患者に合併する心血管合併症の予防、診断、マネジメントを行い、がん患者の生存予後の改善に貢献する。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	3	3	3	3	3	15
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の循環制御内科学分野における大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度1人以上の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を3人/年と設定。						
履修者数 <small>※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0